

青梅上成木ふれあいの森

活動地域内の植生と特定植物のモニタリング調査記録 I

1. 実施日 平成27年4月18日

2. 観察ルート 湊沢出合い（大滝作業道口）～大滝～イラクサの道～サエズリの谷～サエズリの道～スミレの道（日陰）～スミレの道（日向）～リンドウ坂～アジサイの道～湊沢出合い

※里仁会館～湊沢出合いの間は往路、復路とも車移動のため里仁会館周辺のみを観察、里仁会館～常盤橋間の都道202号沿いと常盤橋～大滝間の常盤林道沿いの観察は省略。

A. 里仁会館周辺

- ・アズマイチゲ（東一華）、ニリンソウ（二輪草）キンポウゲ科イチリンソウ属の多年草 アズマイチゲはそろそろ終わりで、代わりに里仁会館近くの都道202号沿いにニリンソウが咲きはじめる。
- ・ヤマネコノメソウ（山猫の目草）ユキノシタ科ネコノメソウ属の多年草 都道202号沿いの支沢出合いに群生状態で見られ、ヨゴレネコノメソウに見えるが葉などの特徴からヤマネコノメソウと思われる。



アズマイチゲ



ニリンソウ



ヤマネコノメソウ

- ・ミヤマキケマン（深山黄華鬘）、ムラサキケマン（紫華鬘）、シロヤブケマン（白薺華鬘）、ヤマエンゴサク（山延胡索）、ジロボウエンゴサク（次郎坊延胡索）ケシ科キケマン属の多年草 里仁会館近くの都道202号沿いの所々で見られるが、ヤマエンゴサク、ジロボウエンゴサクは少ない。



ミヤマキケマン



ムラサキケマン



シロヤブケマン(ムラサキケマンの変種)



ヤマエンゴサク



ジロボウエンゴサク

- ・里仁会館周辺で見られるスマレはタチツボスマレが多い。

B. 涸沢出合い～大滝間（常盤林道沿い）

- ・タチツボスマレ（立坪堇）、ナガバノスマレサイシ（長葉の堇細辛）、エイザンスミレ（叡山堇）スマレ科スマレ属の多年草 涸沢出合い（大滝作業道口）～大滝間の常盤林道沿いにはタチツボスマレとナガバノスマレサイシが多く見られ、涸沢出合いの対岸側、成木川沿いにはたくさんのエイザンスミレが咲いており、自生数は少ないが開花前のスマレサイシの自生を確認。



タチツボスマレ



ナガバノスマレサイシ



エイザンスミレ

- ・マルバスマレ（丸葉堇）スマレ科スマレ属の多年草 途中の常盤林道沿いで既に開花している数株のマルバスマレの自生を確認。
- ・涸沢出合い～大滝間の駐車スペース近くで葉の表面に筋があるスマレが多数咲いており、フイリ（斑入り）フモトスマレかとも思われたが、葉の裏が紫色ではないのでナガバノスマレサイシの変種ではないかと思われる。



マルバスマレ



ナガバノスマレサイシの変種か？

- ・ウバユリ（姥百合）ユリ科ウバユリ属で球根植物の多年草 涸沢出合い、作業道入口の広場にたくさんのウバユリの若葉が出はじめています。
- ・レンプクソウ（連福草）レンプクソウ科レンプクソウ属の多年草 涸沢出合いの少し下流、成木川沿いの草地に開花前だが群生状態で自生するレンプクソウを確認。
- ・イワタバコ（岩煙草）イワタバコ科イワタバコ属の多年草 駐車スペース近くの山側岩崖のイワタバコは若葉が出はじめていますが、近年岩肌の乾燥化で高所のイワタバコの種子が低所に流れ落ちているせいか、高所の株数は年々減少状態で、低所や常盤林道沿いの足元付近に多くの自生が確認される。



ウバユリの若葉



レンプクソウ



イワタバコの若葉

- ・ 瀬沢出合い近くの沢沿いにも里仁会館周辺で見られたヤマネコノメソウが群生状態で見られる。

C. 大滝～イラクサの道～サエズリの谷

- ・ イラクサの道の入口近く、右手の岩肌にイワタバコが生えはじめたが、まだ葉が小さくて少ない。
- ・ 今回はイラクサの道から大滝前の川原に下りなかったため、大滝の前面岩肌とその下流の岩肌のイワタバコの状態は次回以降に観察し、開花時期にモニタリングの予定。
- ・ ツルリンドウ（蔓竜胆） リンドウ科ツルリンドウ属で蔓性の多年草 イラクサの道の入口近く、イワタバコの少し先の右手山側の斜面に蔓が 30cm 以上伸びた 1 株の自生を確認。近くにあった枝切れとテープで簡単に囲いをしたが、後日、囲いを作り直すことに。今後生育状態を要観察。
- ・ ハナネコノメソウ（花猫の目草） ユキノシタ科ネコノメソウ属の多年草 イラクサの道の途中に咲いていたが、そろそろ花は終わり。
- ・ イラクサの道の沢沿いでもうすぐ開花のコチャルメルソウ（ユキノシタ科）、ミヤママンネングサ（ベンケイソウ科）の自生を確認、クワガタソウ（ゴマノハグサ科）の若葉も出はじめ夏になれば開花か。
- ・ イラクサ（刺草・蓴麻） イラクサ科イラクサ属の多年草 沢から離れたイラクサの道沿いでは開花している草花はほとんど見られず、イラクサも新芽状態や背丈がやっと 10 cm 程度で自生数もまだまだ少ない。
- ・ イラクサの道の途中の三角岩周辺の岩場にやっと出はじめたイワタバコの新芽をいくつか確認したが自生数は少ない。



枝切れで囲いをしたツルリンドウ



ハナネコノメソウ



イラクサの若葉

- ・ イワウチワ（岩団扇） イワウメ科イワウチワ属の多年草 サエズリの谷南東面の岩場高所に沢山咲いていたが花はそろそろ終わり。
- ・ ハシリドコロ（走野老） ナス科ハシリドコロ属の多年草 サエズリの谷の沢沿いで咲きはじめたハシリドコロの自生を確認したが、自生数は例年より少ないように思われる。
- ・ モミジガサ（紅葉笠） キク科コウモリソウ属の多年草 サエズリの谷の沢沿いで沢山の若葉が出はじめたが生育はあまりよくない。



イワウチワ



ハシリドコロ



モミジガサの若葉

D. サエズリの道～スミレの道

- ・ サエズリの道からスミレの道（日影）にかけてはシダ類が生えているだけで草花の影はなく、小さな葉だけのタチツボスミレなどいくつかのスミレがポツン、ポツンと見られる程度。

- スミレ道（日向）のスミレはタチツボスミレとナガバノスミレサイシンが多いようで、荒地化のせいか自生数も少なく、生育も悪く小さいものが多い。
- ミツバツチグリ（三つ葉土栗）バラ科キジムシロ属の多年草 スミレ道（日向）の所々で咲いている。



スミレの道のタチツボスミレ



スミレの道のナガバノスミレサイシン



ミツバツチグリ

- スミレの道（日向）のセンブリ（リンドウ科）は今回の観察では自生が確認できず。ススキの繁茂がひどいので、秋の開花前までにスミレの道を整備し、センブリの自生が確認できればモニタリングを実施する予定。

E. リンドウ坂～アジサイの道～溜沢出合い（大滝作業道口）

- リンドウ坂の東京都環境保全の看板近くのツルリンドウは種子がこの辺りに散ったせいか多数の新芽が出ているのを確認。蔓を伸ばした全長 10cm 以上のものがいくつかあるが、ほとんどが背丈 5cm にも満たない状態で、この周辺で 17 株ほどを確認、今後自生数が増えるかも。周辺約 3m 四方の範囲に篠竹を立ててビニールテープで暫定的に囲いをする。
- リンドウ坂の東京都環境保全の看板のすぐ近くのリョウブ（リョウブ科）は新芽が出はじめる。
- リョウブの近くにあるマンサク（マンサク科）は葉もたくさん出はじめ、小さな実が膨らみはじめる。
- イチャクソウ（一葉草）イチャクソウ科イチャクソウ属の多年草 リンドウ坂の東京都環境保全の看板から少し下がった左手の草地に新芽を確認、棒切れで簡単な囲いをしたが今後要観察。
- フモトスミレ（麓葎）スミレ科スミレ属の多年草 リンドウ坂の途中、イチャクソウの近くで周辺に葉の裏が紫色のスミレの自生を多数確認したが、葉の形などからシハイ（紫背）スミレではなくフモトスミレの可能性大、開花はもう少し先。



ビニールテープで囲いをしたツルリンドウ



イチャクソウの若葉



フモトスミレの葉

3. 総括

- 3月までは温暖な日が続いていたが、4月に入ってから急激な寒の戻りなど、気温差の大きい日が続く異常天候で、例年ならこの時期に既に開花している草花の生育が遅れていることを感じる。
- ツルリンドウなどモニタリングで周囲に囲いをしたものには、植物名を書いた名札を付ける予定。

編集 青梅上成木ふれあいの森 しぜん部